

次代の「いわき」を担う人づくり

～キャリア教育を通じた「生きる力」の育成～

地域の
特色ある
活動

福島県いわき市教育委員会

1 はじめに

いわき市は、昭和39年の新産業都市の指定を契機に、昭和41年10月、「和を以って貴しとなす（以和貴）」の精神のもと、14市町村の大同合併により誕生しました。

豊かな自然環境と温暖な気候風土に抱かれた本市は、茨城県と境を接する東北地方最南端に位置し、広大な面積（東京都23区の約2倍）と、東北地方有数の人口（約34万人）を有しています。

2 地域が人を育み、人が地域をつくる

本市は、東日本大震災により沿岸部を中心に400名を超える尊い人命が失われるなど、甚大な被害を受けるとともに、原子力発電所の事故により、子どもたちは、大きな混乱の影響を受けることを余儀なくされました。

こうした状況の中、いわきで生まれ育った子どもたちが、困難を一つひとつ乗り越え、力強く育っていけるよう、平成23年度から、教育行政の目指すべき姿を「いわきの復興に向けた教育メッセージ」として継続的に発信してきました。

そして、震災から5年が経過し、復興に一つの目処がつき、折しもいわき市制施行50周年の節目を迎えた平成28年に、この教育メッセージの理念を継承するものとして、本市の教育・学術・文化の振興に関する施策の基本的方向性を示す「いわき市教育大綱」を策定しました。

本市では、この大綱に掲げる「地域全体で人を育て、誇れるまち“いわき”をつくる」という理念のもと、いわきを支え、将来を担う「人財（材）」の育成に、官民を挙げて、

全力で取り組んでいます。

3 先進的なキャリア教育

現在、世界は、グローバル化が進むとともに、人工知能が驚異的な進化を遂げ、近い将来、シンギュラリティ（技術的特異点）が到来することも予測される、かつてない「変革」の時を迎えています。

本市では、時代の変化に的確に対応しつつ、自ら新しい時代を切り拓いていくことができる人財の育成に向け、先進的なキャリア教育を柱とする様々な取組みを展開しています。

(1) いわきっ子チャレンジノート

自ら困難にチャレンジしていく意欲や態度を培うことを目的に、小・中学生に、将来の夢や目標、その実現のための考え方や決意を記述する「いわきっ子チャレンジノート」を配布しています。ノートは、「自己理解」「夢や目標」「実現のために努力すること」「まとめと振り返り」等から構成され、学期末などに学級担任がコメントを記入するなど、双方向での取組みを通し、夢や目標の実現に向けた支援を行っています。

(2) いわき・わくわく「しごと塾」

「しごと」体験や地域の人々の営みに触れる機会を通じ、多様な職業観を涵養するとともに、郷土への誇りや愛着を醸成することを目的に、小・中学校において「総合的な学習」や「社会科学」の時間に、地区の公民館のコーディネーターにより、地域の人財（企業、生産者）及び資源



地元企業での体験学習の様子

(地場産業、自然、伝統文化)を活用した体験学習を実施しています。

(3) 体験型施設における経済教育

「社会はどのようにして成り立っているのか」を理解することを目的に、「いわき市体験型経済教育施設 Elem」において、(公社)ジュニア・アチーブメント日本のプログラムをもとに、体験型の経済教育を行っています。



エリムの外観

この施設は、カタールフレンド基金の資金援助を受けて建設された、専用施設としては日本唯一の体験型経済教育施設で、愛称の Elem (エリム) はアラビア語で「教育」を意味します。

総合的な学習の時間において、小学5年生と中学2年生が、協賛企業にご協力いただき施設内に再現した「街」の中で、「社会のしくみや経済の働き」を体験学習しています。

総合的な学習の時間において、小学5年生と中学2年生が、協賛企業にご協力いただき施設内に再現した「街」の中で、「社会のしくみや経済の働き」を体験学習しています。

① Student City (小学5年生)

施設2階に設置された店舗などのブースで、ものやサービスを受ける側(消費者)と提供する側(生産・販売者)の役割を同時に体験し、「社会は、仕事を通じて相互に支え合うことで成立している」ことを学んでいます。

② FINANCE Park (中学2年生)

施設3階に設置された店舗などのブースで、各生徒が、収入・税金・家族構成など、一人ひとり異なる条件を与えられた中で、生活を成立させるために必要なコストを計算し、自分で「選択と意思決定」を行う力を養っています。



ステューデント・シティ



ファイナンス・パーク

(4) いわき生徒会長サミット

将来のいわきを担う、グローバルに活躍ができる人財の育成を目的に、生徒会長サミットを中心とする全国的にも先進的な取組みを通し、企画力、問題解決力、実践力の養成を

図っています。

① 生徒会長サミット

中学校の生徒会長が各学校で共通する課題等について協議し、その解決に向けた実践策を検討する場として「生徒会長サミット」を開催するほか、本市が直面する様々な行政課題に正面から向き合い、考える機会として「中学生議会」を実施しています。

② グローバルアカデミー いわき志塾

希望する中学生を対象に、企業のトップや研究者、トップアスリートなど、日本の各分野のスペシャリストを毎回10名程度講師として招き、講義やワークショップを通し、講師の哲学や人間力、生き方に触れ、夢の実現の為に何をすべきかを学び、自らの生き方を考える機会を提供しています。

【平成29年度 スケジュール(予定)】

月	講師陣	内容
6月	中央省庁職員	日本の未来を描く仕事
7月	科学関係企業	科学の力で未来を拓く仕事
8月	研究機関職員	宇宙へ広がる人類の未来
9月	東京の企業	企業を支えるリーダーの資質
11月	医療従事者	命を守る～医療の現場とは～
12月	法曹関係	暮らしを守る法に関わる仕事
1月	スポーツ関係	アスリートに学ぶ目標達成の思考法
2月	地元企業	いわきの未来を創造する

③ イングリッシュ・イマージョンキャンプ

ALTを講師とした英語漬けの1泊2日のキャンプを実施し、英語のみでの生活という未知の体験の中で、異文化理解を深めるとともに、国際感覚を養います。

4 終わりに

「国家百年の計は、教育にあり」と言われます。ふるさと・いわきの更なる50年を展望したとき、最も重要なのは、未知の領域に挑戦し、時代をリードする人財の育成です。

今後も、これら本市独自の取組み等を通し、「知・徳・体」のバランスの取れた「生きる力」を高めるとともに、ふるさとで育った人が、また次の世代を支え育てる「豊かな土壌づくり」を進めていきたいと考えています。

教育長

吉田 尚

